

# 「あすなろ」便り

No.83

2011. 12. 22

発行：あすなろ  
TEL：046-254-2005



## 座間市ボランティア協議会主催の講演会



11月29日 座間市ボランティア協議会主催で開催されたさわやか財団 大島先生の「定年後の生き方について」の講演会に参加しました。

沢山の参加があり 講師方の沢山の経験の話 やゲームなど 楽しい講演でした。  
ボランティアの大切さを理解できました。

## 餅つき大会

12月15日(木)小春日和の中、あすなろの家で座間市適応指導教室「つばさ」の皆さんと合同「餅つき大会」がありました。台所では、スタッフとお手伝いのボランティアさんがあすなろの畑で収穫した大根、サトイモ、ネギなどを使い、けんちん汁の準備です。外では子供達が大人に手伝ってもらいながら餅を「ヨイショ」の掛け声で、10回ずつ数えながら、変わるがわるに餅をついていました。



餅はあんこ・きな粉・大根おろし・しょうが・のりと子供達にちぎって貰いながら、大きいのが小さいのが食べきれないほど出来上がりました。色々な御餅を食べ、お汁もお変わりし、皆満面の笑顔です。



「つばさ」とあすなろの子供達は二部屋に分かれカードゲームをしたり、男の子達は近くの仲良し広場に出かけサッカーをしたりととても楽しそうでした。最後にクリスマス・お正月の歌を歌いもりあがり、とても楽しいひと時は終了。いつものあすなろとは違った賑やかな光景でした。[つばさ]の皆さんより素敵な手作りのクリスマスリースを頂きました。

## 庄子先生講演会

12月16日庄子先生の講演会が、あすなろ主催で開催されました。これは県青少年センターの23年度助成事業「ひきこもり青少年の親の会等地域団体活動奨励事業」として行われました。テーマは「不登校児等の学力や学びの力をどう身につけていくか」という内容でお話がありました

学習は脳のトレーニングをすることであり、その回路を作っていくことで具象から抽象へと脳の回路が伸びていく事である。

例えば漢字は、大きな紙に大きく書いて構造的な概念としてとらえていく事で覚えていく。数学(算数)は抽象的な概念なので、不登校児は特に学習の途中で確認しないと先へ進めない子がいて、そこでつまづいてしまう事がある。親は子どもに色々な事にトライさせてその才能を見極めていく事が大切である。しかし過干渉は子どもの自立性が育っていかない。

また、子どもは大人(親・教師)が一人前に扱ってくれることで、大人を信頼し学習面でも進歩していくのである。

「何故、勉強するのか」という質問に対して国ごとに違い、イタリアは「勉強は人生を楽しむため」でありアメリカは「人生で成功するため」と言われているそうである。日本はアメリカに近い観念ではないだろうか。

現在日本は消費社会となり生産することに関わらなくなった事も大きく影響していると思われる。

- ・今こそ「人生の幸せは何か」ということを、しっかりと見極める事が大切ではないか？
- ・植物を育てることと子育ては極めて類似している。
- ・そこから多くのヒントを得られる。